VICS Technology

COMPANY PROFILE 2026

AI AGENT · DATA SOLUTION COMPANY

問いが、
仕事を動かす。

VICS Technologyは、**AIエージェントとデータ技術**で
企業の働き方を変える**IT企業**です。



TABION　Yurika / AgentWorks / AIOps / AIRouter

VICS Technology
vicsnc.com

VICS Technology

Contents

VICS Technologyは、お客様の業務課題を
人工知能とデータ技術で解決するIT企業です。

目次と上部メニューをクリックすると、該当ページへ移動します。

製品ページのボタンは、vicsnc.comの詳細ページとデモ動画につながります。

COMPANY

03 **VICS at a glance** p.03
AIで働き方を変えるIT企業

04 **Question · Solution · Satisfaction** p.04
問いから始め、成果で終える

05 **We are** p.05
人を中心に · AIネイティブ

06 **Our Story** p.06
小さな問いひとつが、4つの製品になるまで

07 **History** p.07
2023 — 2026

08 **How we work** p.08
From canvas to solution

TRUST & CONTACT

18 **信頼の設計** p.18
セキュリティと統制は最初から

19 **References** p.19
現場でともに完成させた仕事

20 **Contact** p.20
導入のお問い合わせ

TABION — PRODUCTS

09 **Tabionの全体像** p.09
4つの製品、同じ出発点

10 **Yurika** p.10
AI Agent for Work

12 **AgentWorks** p.12
Enterprise AI Agent Platform

14 **AIOps** p.14
AI-Driven Incident Prediction & Response

16 **AIRouter** p.16
Intelligent AI Gateway

03 — Company · At a glance

AIエージェントとデータ技術で企業の働き方を変えるIT企業

VICS Technologyは、お客様の業務課題を**人工知能とデータ技術で解決する技術企業**です。企業向けAI製品群**Tabion**を自社開発し、金融・公共・製造・日本のお客様のAIとクラウドシステムを構築してきました。

2023
設立 · ソウル 加山

4製品
自社開発のAI製品
Tabion製品群

特許 · GS
クラウド自動化技術の特許
公共向けAgentWorks GS認証

SI投資
株式会社バイオリンク
戦略的投資を受ける

VICSの事業

WHAT WE DO

01
AI AGENT FOR WORK
業務用AIエージェント
会社の書式・資料・業務を知るエージェントパックで、組織で共に使うAIエージェントです。
Yurika

02
AI AGENT PLATFORM
AIエージェントプラットフォーム
企業に必要なエージェントを自ら構築し、安全に運用するためのプラットフォームです。
AgentWorks

03
AI OPERATIONS
AI運用自動化
ITインフラの障害を事前に予測し、原因分析から対応まで自動化します。
AIOps クラウド自動化

04
INTELLIGENT AI GATEWAY
インテリジェントAIゲートウェイ
すべてのAIリクエストを中継し、リクエスト記録をAIが分析してコスト・セキュリティ対策を提示します。
AIRouter

05
AI BUILD · CONSULTING
AI構築 · コンサルティング
金融AIチャットボット、AIアシスタント、データ標準化システムを構築し、プロンプトを設計します。
金融 · 公共 製造 · 海外

04 —— Company · Question! Solution? Satisfaction.

問いから始め、成果で終える。

VICSの仕事はすべて、3つの段階を経ます。本当の課題を問い、実際に動くAIで答え、成果が残るまでともに歩みます。**一枚の絵を完成させるように**、お客様の業務を完成させます。



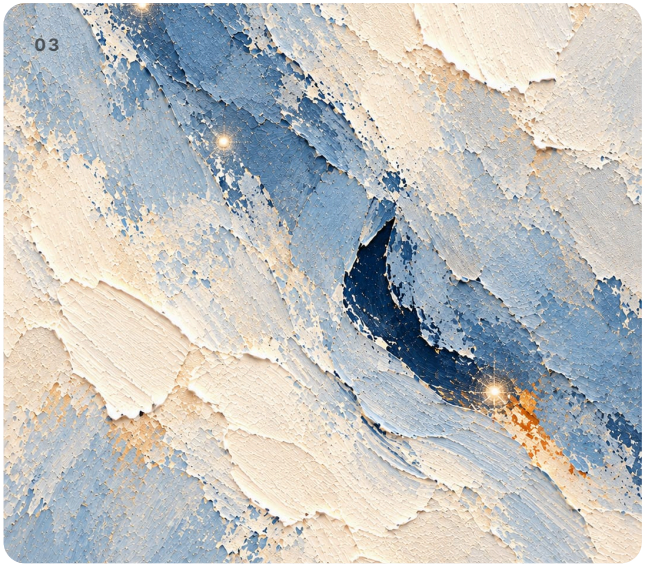
01 Question!

導入したAIは多いのに、実際に使う人はいません。私たちはツールの提案から始めず、あなたの業務で解決すべき本当の課題から探します。



02 Solution?

社内データで働く企業向けAIエージェント Tabion。文書作成からIT運用・AIコスト管理まで、見せかけではなく、実際の業務で動かします。



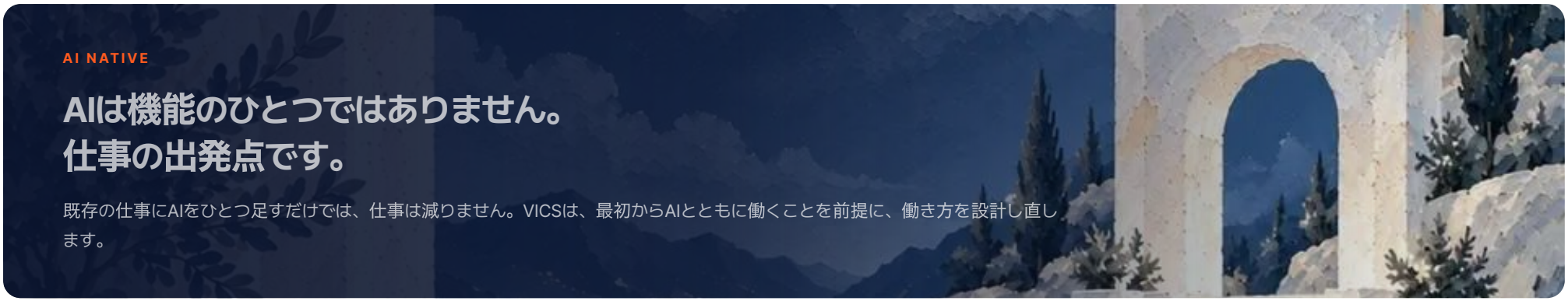
03 Satisfaction.

導入で終わりにしません。社員が実際に使い、成果が数字で残るまで責任を持ちます。

05 — Company · We are

人の働き方から出発して、繰り返しはAIが担う職場をつくります。

道具は人に合わせるべきだと信じています。現場の不便から製品づくりを始め、**人が必ずやるべき仕事だけを人に残します。**



AI NATIVE

AIは機能のひとつではありません。仕事の出発点です。

既存の仕事にAIをひとつ足すだけでは、仕事は減りません。VICSは、最初からAIとともに働くことを前提に、働き方を設計し直します。

01

人を中心に

技術よりも、まず人を見ます。道具は人の働き方に合わせるべきだと信じ、現場の不便から製品づくりを始めます。

PEOPLE FIRST

02

信頼の設計

セキュリティと統制は、後から付け足す機能ではなく、最初から設計する基本です。企業が安心して任せられるAIをつくります。

TRUST BY DESIGN

03

軽やかに、わかりやすく

複雑さは私たちが引き受け、使う人にはシンプルでわかりやすい体験だけを残します。導入したその日からすぐに使える道具を目指します。

LIGHT & CLEAR

04

ともに完成

VICSの技術は、お客様とパートナーの現場で完成します。業務が実際に軽くなるまで、ともに答えを磨き上げます。

FINISHED TOGETHER

06 — Company · Our Story

小さな問いひとつが、4つの製品になるまで。

> “この仕事は、なぜ毎回人が手でやらなければならないのだろう。”

VICSは、この問いひとつから始まりました。サーバーを増やすたびに同じ設定を繰り返し、夜でも休日でもアラームが鳴ればノートパソコンを開く人たちがいました。最初の答えは**クラウドインフラの自動化**で、その技術で特許も取得しました。

金融会社や日本のお客様の現場で、技術をつくることよりも**現場で実際に動かすこと**のほうがはるかに難しいと学びました。だから最初からAIとともに働き方を組み立て直し、その考えがいまの**Tabion**になりました。

名前は4つでも、出発点は同じです

01	**Yurika**	資料を探して移すだけで一日が終わる人に →
02	**AgentWorks**	エージェントを部署ごとにバラバラに作り運用しているため、コストと管理負担が膨らむ会社に →
03	**AIOps**	降り注ぐアラームの中から原因を探さなければならない運用チームに →
04	**AIRouter**	複数のAI事業者の契約・コスト・セキュリティを前に、スピードを諦められない開発チームに →

公共市場に参入するためにGS認証を取得し、パイオリンクの戦略的投資も受けました。会社は少し大きくなりましたが、働き方は変わりません。



“今日の自動化が、誰かの退勤時間を変えます。”

プラットフォーム開発チームの同僚の言葉です。私たちの仕事を、これ以上うまく言い表した一文は、まだ見つかっていません。

07 —— Company · History

一歩ずつ積み重ねた時間が、いまのVICSをつくりました。



2023

始まり — クラウド自動化

FOUNDED
VICS Technology 設立

LAUNCH
Wise.onクラウド自動化プラットフォームを発売

2024

技術の実証 · 海外展開

PATENT
クラウドインフラ自動化技術の特許を取得

FINANCE
現代カードにWise.onクラウド自動化プラットフォームを納品

JAPAN
日本企業とCloud MSP契約を締結 · Agentec社 AI Assistant、AI Shorts 第1段階を実施

LAUNCH
Wise.on AI Platformを発売

MOU
株式会社カスとAIソリューション業務協約を締結

2025

AI構築の拡大

FINANCE
キウム証券 AIチャットボット構築プロジェクトを実施

JAPAN
Mountain社にWise.on AI Platformを納品 · Agentec社 AI Shorts 第2段階を実施

DATA
ワンキャンネットワークス AIベースの資材名標準化システムを構築

CONSULTING
株式会社カス プロンプトエンジニアリングのコンサルティング

2026

Tabion製品群の完成

LAUNCH
AIエージェント構築・運用プラットフォーム「AgentWorks」を発売

LAUNCH
業務用AIエージェント「Yurika」を発売

LAUNCH
インテリジェントAIゲートウェイ「AIRouter」・AIベースの障害予測・対応「AIOps」を発売

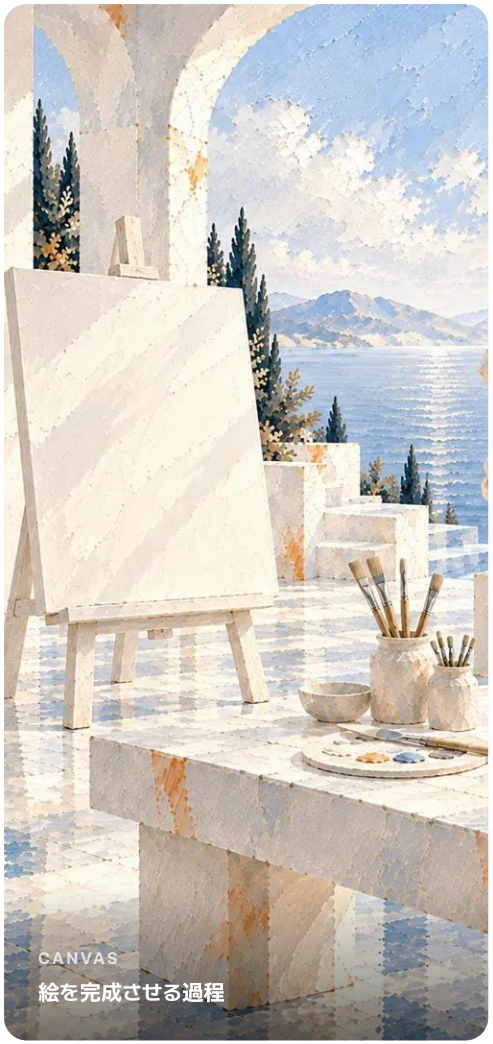
PUBLIC
公共向けAgentWorksがGS認証を取得 · ナラジャンターに登録

INVEST
株式会社バイオリンクから戦略的投資(SI)を受ける

08 —— Company · How we work

FROM CANVAS TO SOLUTION

一枚の絵を完成させるように、お客様のソリューションを完成させます。



絵を完成させる過程		ソリューションを完成させる過程
観察 対象をじっくり見つめます	01	**顧客理解** 現場が実際にどう働いているか、システムとセキュリティ環境をまず見ます。
問い 核心に向けて問いかけます	02	**課題定義** 「なぜこの仕事は毎回手作業なのか」— AIで解くべき本当の課題を定めます。
探索 可能性を広く探ります	03	**解決策の設計** エージェント・データ連携・セキュリティ統制の構造を、業務に合わせて設計します。
反復 よりよい結果へと磨き上げます	04	**適用と検証** 実際の業務に適用し、結果を見ながら正しい答えかどうかを問い直します。
完成 一枚の作品になります	05	**顧客の成果** 社員が実際に使い、業務が軽くなったとき、はじめて完成です。

異なる二つの過程は、やがて**ひとつの完成**へとつながります。



09 —— Tabion · Products

名前は4つでも、出発点は同じです。

Tabionは、VICSが見つけた解決策を実際の業務で使えるようにした**企業向けAI製品群**です。業務ですぐに使うAIエージェント**Yurika**、エージェントを構築・運用するプラットフォーム**AgentWorks**、障害予測・対応自動化の**AIOps**、インテリジェントAIゲートウェイ**AIRouter** — 企業がAIを安全に使うために必要なものを自社で開発しています。



01 AI AGENT FOR WORK

Yurika

AIを導入したのに結果が人によってバラバラな組織に

QUESTION!
社員がそれぞれ個人向けAIを使い、結果がバラバラです。

SATISFACTION
会社の書式と資料を知るエージェントで、誰が使っても同じ基準で仕事をします。

全社員・部門 エージェントパック

詳しく見る → p.10



02 ENTERPRISE AI AGENT PLATFORM

AgentWorks

必要なAIエージェントを自ら構築・運用したい企業に

QUESTION!
エージェントを部署・システムごとにバラバラに構築すると、サイロ化とコスト、保守の負担が増えていきます。

SATISFACTION
ひとつのプラットフォームでエージェントを構築・運用・拡張し、実行履歴まで一元管理します。

IT・開発組織 GS認証

詳しく見る → p.12



03 AI-DRIVEN INCIDENT PREDICTION & RESPONSE

AIOps

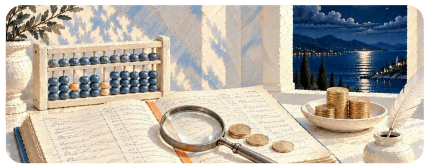
降り注ぐアラームの中から原因を探す運用チームに

QUESTION!
アラームは次々と鳴るのに、原因の特定はいつも熟練者の時間に頼っています。

SATISFACTION
障害は減り、復旧は速くなり、運用チームはサービス改善に集中できます。

IT運用チーム インフラ

詳しく見る → p.14



04 INTELLIGENT AI GATEWAY

AIRouter

複数のAI事業者を前に、スピードを諦められない開発チームに

QUESTION!
事業者ごとに契約・キー・セキュリティレビューを別々に行うため、モデルの切り替えも困難です。

SATISFACTION
管理部門は統制を、開発組織はスピードを、ともに手にします。

開発組織 購買・セキュリティ

詳しく見る → p.16

10 — Product 01 · Yurika

Yurika

AI AGENT FOR WORK

従業員の実際の業務遂行から管理者のセキュリティ・コスト統制まで、ひとつの体系で提供する、企業のセキュリティ環境内で運用される業務用AIエージェントです。

PACK **会社の書式・資料・業務を知るエージェントパックで、初日から組織の仕事をこなします。**

● **実際の業務ですぐに「使う」AIエージェント · エージェントを「つくる」プラットフォームはAgentWorks →**



Question!	社員がそれぞれ個人向けAIを使って結果がバラバラになり、AIは自社の書式や規程を知りません。
Solution?	会社の書式・資料・業務を収めたエージェントパックで、組織が同じエージェント・同じ基準で仕事をします。
Satisfaction	誰が使っても同じ基準で処理し、成果物はリポジトリに集まって組織の資産になります。

次へ ― できること · 統制 · 利用環境 p.11 →

個人向けAIではなく、組織で共に使う業務用AIです

PERSONAL AI vs YURIKA

項目	個人向けAI (外部AI)	業務用AI · Yurika
誰が使うか	社員がそれぞれ個人アカウントで	組織がひとつの環境で一緒に
会社の書式・資料	毎回貼り付けて説明	リポジトリのテンプレート・参照資料をもとに作成
始め方	空のチャット画面でプロンプトから	エージェントを押して開始し、会話で仕上げ
業務エージェント	利用者が自分で作る	エージェントパックを追加すればすぐに揃う
成果物・利用記録	個人アカウントに残る	リポジトリに集まり、会社が確認・統制
業務システム	結果を手作業で移す	コネクタでメール・ファイルサーバーと連携
業種への対応	利用者がその都度説明	業種パック · カスタムパック

Yurikaの核心、エージェントパック ― 加えるほど、組織にできることが増えます

AGENT PACK

エージェントパック · 中身は4つ

- **エージェント** — 業務ごとに押してすぐ実行
- **テンプレート・参照フォルダ** — 会社の書式 · 規程 · 共通の指針
- **スキル** — 専門業務の手順、会話でも使用
- **コネクタ** — メール · ファイルサーバー · 予定と連携

BASE
基本パック
全社員共通 · レポート作成 · 市場調査 · 議事録の整理 · プレゼン資料

DEPARTMENT
部門パック
マーケティング · 営業 · 人事 · 総務 · 財務 · 会計 · 法務

INDUSTRY
業種パック
業種の規程 · 用語を収録 ― 建築 · 建設 · IT · 流通、今後も増えます

CUSTOM
カスタムパック
貴社独自の書式 · 社内ツール · 業務手順をパックで加えます

画面はひとつです。パックを加えると、同じ画面にエージェント · スキル · コネクタが増えます。パック名と構成は例です。

11 — Product 01 · Yurika — Features

エージェントを押して始め、会話で仕上げます。

初めて使う社員もエージェントを押せば結果が届き、設定が引き継がれた会話で直したい部分だけを依頼します。結果は会社の書式のまま、リポジトリに集まります。

Yurikaでできること

WHAT IT DOES

01 ナレッジ検索・ディープリサーチ
公開・社内・個人の資料を、根拠と出典リンクまであわせて整理

02 文書作成
Word · Excel · PowerPoint · PDF · ハンギュル(HWPX) — 会社のテンプレートのまま

03 プレゼン資料
ストーリーボード → スライド → 発表動画、直したい枚だけ作り直し

04 議事録 NEW
会議を録音すると、話者の区別・決定事項・やることまで整理

05 データ分析
Excel・社内DBに自然言語で問い合わせ、表とチャートに

06 資料の整理
ファイル名ではなく内容で分類し、重複・旧版を整理

07 業務自動化
エージェントの予約実行 · 会話中の呼び出し · 実行履歴の確認

08 コネクタ
メール・ファイルサーバー・予定にログインで連携し、結果をすぐ届ける

09 開発
自分のPCのリポジトリで分析・修正・テスト(デスクトップアプリ)

成果物はリポジトリに、利用は会社が統制します

CONTROL

REPOSITORY
リポジトリ
作成した文書と資料を組織のリポジトリで一元管理 — 担当者が替わっても残ります

GUARDRAIL
ガードレール
機微な項目をキーワード・パターンで登録し、リクエストとレスポンスを双方向で検査

AUDIT
監査ログ
利用者・時刻・モデル・リクエスト・レスポンスの原文を残し、条件で検索

BUDGET
組織別予算
予算を先に配分し、上限に達すると実行を止めます

ブラウザですぐに始め、必要なら広げます

ENVIRONMENT

標準
ブラウザ
インストール不要ですぐに — エージェント・会話・リポジトリ・スキル、パックの追加と管理者設定

オプション
デスクトップアプリ
自分のPCのフォルダやコード作業まで — 同じエージェント・同じスキル

運用
SaaS · お客様専用クラウド
SaaSは自動アップデート・インストール不要、インフラ要件がある場合はお客様専用クラウド構成をご相談 · 外部の商用モデルと社内モデルを併用

15日間のトライアルで、まずお確かめください

トライアル環境がそのまま貴社のYurikaになります · 製品詳細ページでデモ動画をご覧いただけます。

製品詳細 · デモ動画 ↗
トライアル · 導入のお問い合わせ ↗

12 —— Product 02 · AgentWorks

AgentWorks

ENTERPRISE AI AGENT PLATFORM

エージェンティックAI時代に、セキュリティと生産性を兼ね備えたAIエージェントを構築し、安全に運用できる企業向けプラットフォームです。

ROLE　エージェントを「つくり、運用する」プラットフォーム

● 公共向けAgentWorks · GS認証 · ナラジャンター登録



Question!	エージェントを部署・システムごとにバラバラに構築すると、サイロが生まれ、コストと保守の負担が増え続けます。
Solution?	社内の資料・DB・システムをひとつのプラットフォームに接続し、ローコードで作ったエージェントをどこでも実行します。
Satisfaction	構築から運用・実行履歴までを一か所で管理し、ひとつのプラットフォームで拡張し続けます。

次へ — 接続 · 構築 · 実行 · 拡張　p.13 →

Yurikaとの違い — 「使う」エージェントと「つくる」プラットフォーム

ROLE

YURIKA — AI AGENT

業務で「使う」AIエージェント

会社の書式・資料を知るエージェントパックで、従業員がすぐに任せられる完成形の業務用AIエージェントです。

誰が	従業員 · 現場
何を	日々の実際の業務遂行
成果	レポート · 文書 · 分析結果

AGENTWORKS — PLATFORM

エージェントを「つくり、運用する」プラットフォーム

会社に必要なエージェントを自ら構築・展開し、安全に運用・管理するための基盤です。

誰が	IT · 開発 · 運用組織
何を	エージェントの構築 · 展開 · 運用
成果	業務 · システムに合わせたエージェント

エージェントをバラバラに作ると生じる問題

PROBLEMS

01 · SILO

サイロ化

部署・システムごとに別々に作ったエージェントは資料と知識が分断され、全社的に活用できません。

02 · COST

重複コスト

同じ機能を何度も開発し、モデル・インフラのコストがエージェントごとに別々にかかります。

03 · MAINTENANCE

保守 · セキュリティの負担

異なるエンジンやフレームワークが混在し、運用・権限・監査の管理がITの統制を離れます。

THE ANSWER

解決策はエージェントを一つずつ別々に作ることではなく、ひとつのプラットフォームで構築し運用することです。

13 — Product 02 · AgentWorks — How it works

つなぎ、つくり、どこでも動かし、拡張し続ける。

社内の資料とシステムをひとつのプラットフォームに集め、その上でエージェントを作り、必要な場所どこでも実行します。構築・運用・実行履歴は一か所で管理されます。

01 · CONNECT
接続・統合
社内のあらゆる資料とシステムをプラットフォームへ

- **非構造化データ**
  文書・画像・音声 — ナレッジベース、意味 + キーワードのハイブリッド検索
- **データベース**
  自然言語の質問をSQLに変換して直接照会
- **既存システム**
  メール・カレンダー・ERPなど — MCPコネクタ、OAuth認証

02 · BUILD
ローコードビルダー
接続したリソースの上でエージェントをつくる

- **文章で説明すれば下書きが完成**
  ビルダーアシスタントが段階ごとに一緒に構成
- **ツール・ナレッジ・データを組み合わせ**
  業務に合ったエージェントとJobを定義
- **チーム・組織で共有**
  一度作れば全員が同じ基準で利用

03 · RUN
どこでも実行
作ったエージェントを必要な場所で

① AIワークスペース
標準の画面ですぐに利用

② API呼び出し
グループウェア・ポータルなど既存システムから呼び出し

③ 新しいシステムの構築
エージェントを基盤に新しい業務システムを実現

04 · SCALE
ひとつのプラットフォームで拡張
新しいエージェントも同じ基盤の上に

- **一元管理**
  構築・運用・実行履歴を一か所で
- **再利用**
  接続した資料・ツールを次のエージェントがそのまま活用
- **サイロの解消**
  重複コストと保守負担を削減

安全な運用 — すべての実行はAIゲートウェイと統制の仕組みを経由します

ZERO-RISK GOVERNANCE

GUARDRAIL
リアルタイムAIガードレール
機微情報を自動検知し、外部モデルに送る前に種別ラベルに置き換え

AUDIT · RBAC
監査ログ・権限統制
誰が・いつ・どのエージェントを使ったかを記録、ロールベースのアクセス

LLM MANAGER
コスト最適化
チーム・組織別のトークン割当、難易度に応じたモデルの自動配分

SANDBOX
隔離されたツール実行
ツール呼び出しごとに権限を確認し、サンドボックス内で実行

HITL
人による承認
DB削除・メール送信などの機微な操作の前には必ず承認

OBSERVABILITY
可観測性・復旧
推論・実行履歴を記録し、無限ループの検知と自動再試行

AgentWorksを実際に確かめてください
製品詳細ページでデモ動画をご覧いただけます。

製品詳細・デモ動画 ↗ | 導入のお問い合わせ ↗

14 — Product 03 · AIOps

AIOps

AI-DRIVEN INCIDENT PREDICTION & RESPONSE

分散した運用データを統合分析して障害を事前に予測し、障害発生時には根本原因分析と対応を自動化する、AIベースのインテリジェントな障害予測・対応自動化ソリューションです。

FOR **降り注ぐアラームの中から原因を探す運用チームに**



Question!	アラームは次々と鳴るのに、原因の特定はいつも熟練者の時間に頼っています。
Solution?	しきい値に達する前に異常の兆候を予測し、根本原因分析から対応まで自動でつなぎます。
Satisfaction	障害は減り、復旧は速くなり、運用チームはサービス改善に集中できます。

次へ — 仕組み · 中核機能 p.15 →

運用現場の6つの課題

BACKGROUND

01
事後対応
障害が起きてから初めて認識します。遅れるほどダウンタイムと損失が大きくなります。

02
アラームの氾濫
ひとつの原因が数十のアラームに広がり、肝心な点がノイズに埋もれます。

03
原因分析の遅れ
熟練した人材と時間が必要で、担当者によって分析の質が異なります。

04
手作業の対応
ヒューマンエラーや復旧の遅れ、夜間・休日の待機の負担が常にあります。

05
データの分断
ログ・メトリクス・構成情報・履歴がツールごとに散らばっています。

06
知識の属人化
ノウハウが個人に結びつき、人が去ると能力も失われます。

事後対応から、異常の兆候の段階での先制対応へ

BEFORE · AFTER

現行の対応
しきい値超過後に認識

1 異常の兆候を認識できない
2 多数のアラームが同時に発生
3 運用者がノイズを選別
4 複数ツールで手動分析
5 手動復旧・ヒューマンエラー

この区間すべてがサービスのダウンタイム

AIOps
しきい値到達前に対応

1 **異常の兆候の段階ですぐに対応に着手** 予測・先制対応で、しきい値に達する前に遮断

THE ANSWER

これらの課題は人員の増員ではなく、**判断体系の転換**で解決します。

15 — Product 03 · AIOps — Features

既存のモニタリングはそのまま、その上に判断と自動化を。

運用中のモニタリング体制を置き換えません。収集・予測・判断・対応・検証をひとつの流れでつなぐレイヤーを加えます。

クローズドループ運用 — 対応の結果が、再び予測を精緻に

CLOSED LOOP

01
収集・正規化
メトリクス・ログ・変更履歴を単一のスキーマで蓄積

→

02
異常検知・相関
適応型ベースライン、関連シグナルを「状況」単位に

→

03
AI判断
根拠とともに予測・根本原因・対応手順を生成

→

04
対応・検証
Playbookの実行後、メトリクスの回復まで確認

運用者の正検知/誤検知の判定が予測精度として蓄積され、予測エージェントに再び反映されます。

中核機能

CORE FEATURES

01 **リアルタイム統合収集**
メトリクス・ログ・構成情報・変更履歴

02 **AI事前予測・レビュー**
リスク度・信頼度・予想発生時期を提示

03 **相関分析 (状況監視)**
シグナルを状況に圧縮し、ノイズを削減

04 **自動RCA・対応方針**
根本原因・影響範囲・段階別の手順

05 **ブラストラディウス**
障害の影響範囲をトポロジーで可視化

06 **Playbook自動化**
検証済みの標準対応・リアルタイムログ・回復検証

07 **対話型オペレーションコパイロット**
自然言語で資産・予測・障害・成果を照会

08 **自律性ガードレール**
承認/自律モード、高リスク作業は承認必須

09 **成果分析・フィードバック**
予測精度・MTTR・自動対応の成功率を追跡

AIOpsが違う点

DIFFERENTIATORS

EXPLAINABLE
説明可能なAI判断
推移・ログ・過去の履歴などの根拠をあわせて示し、運用者が検証できます。

CONTROLLED
統制された自動化
高リスク作業は承認必須、対応後の回復検証まで行うクローズドループ構造。

HYBRID
判断方式の分離
シグナルのまとめはルール推論で、記述・予測・RCAはLLMで。

MODEL-AGNOSTIC
モデル非依存
LLMを切り替えられ、検証済みのAgentWorks基盤の上に構築されます。

AIOpsを実際に確かめてください
製品詳細ページでデモ動画をご覧いただけます。

製品詳細・デモ動画 ↗　導入のお問い合わせ ↗

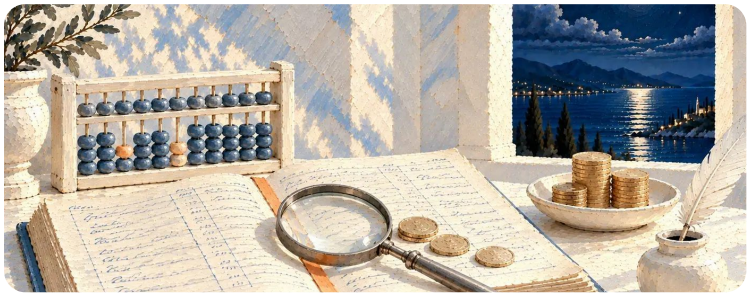
16 — Product 04 · AIRouter

AIRouter

INTELLIGENT AI GATEWAY

企業のアプリケーションとAIモデル事業者の間ですべてのリクエストを中継し、リクエスト記録をAIが分析してコストとセキュリティの対策を提示する、インテリジェントAIゲートウェイです。

FOR **契約・コスト・セキュリティを前に、スピードを諦められない開発チームに**



Question!	事業者ごとに契約・キー・セキュリティレビューを別々に行うため、モデルの切り替えもコストの統制も困難です。
Solution?	すべてのリクエストをひとつのAPIで中継してルーティングから障害時の切り替えまで処理し、リクエスト記録をAIが分析してコスト・セキュリティ対策を提示します。
Satisfaction	管理部門は統制を、開発組織はスピードを、ともに手にします。

次へ — 仕組み · 導入対象 p.17 →

統制が必要な側と、スピードが必要な側

THE TENSION

管理部門・購買・財務・セキュリティ

統制が必要です

要求	契約・コスト・外部送信データの統制
基準	セキュリティ事故なし・予算遵守
懸念	予算超過・データの外部流出

VS

開発組織・エージェント・ソリューション

スピードが必要です

要求	必要なモデルをすぐに使用
基準	迅速な開発とリリース
懸念	モデル切り替え時のサービス障害

8社 接続されたAIモデル事業者

158種 提供モデル

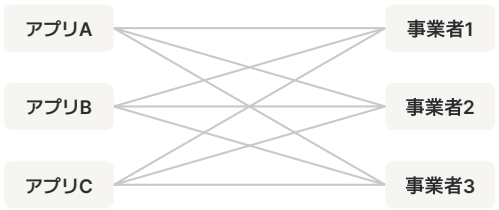
1つ 開発組織が使うサービスキー

※ 事業者数・モデル数は2026-09-28 運用環境基準

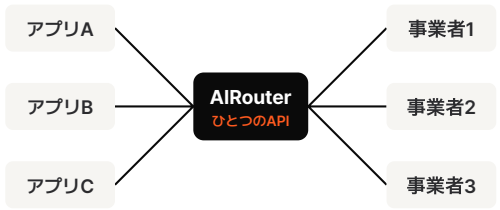
管理ポイントが掛け算で増える構造を、一か所に

ARCHITECTURE

現在 — アプリごとに個別連携　管理ポイント 9つ



AIRouter — 一か所に　管理ポイント 1つ



17 — Product 04 · AIRouter — Features

リクエストが通る7つの段階、そしてAI分析。

すべてのリクエストは認証から使用量の記録まで同じ経路を通り、セキュリティ・予算の判定はルールで適用します。蓄積されたリクエスト記録はAIが分析し、コストとセキュリティの対策を提示します。

01 **認証**
サービスキーの検証・ワークスペースの識別

02 **ガードレール**
許可モデル・事業者・リージョン、入力データの検査

03 **予算確認**
上限・残高を確認、超過時は遮断

04 **ルーティング**
単価加重分散・最安単価・最小遅延

05 **事業者呼び出し**
事業者仕様への変換・ストリーミング中継

06 **フェイルオーバー**
失敗時は代替事業者・フォールバックモデルへ

07 **メータリング**
トークン・コスト・遅延時間を記録

+ AI **AI分析**
リクエスト記録を分析し、コスト・セキュリティ対策を提示

管理部門・購買・財務・セキュリティ

単一のコンソールで統制

- 複数事業者との契約・精算を単一の契約に、新モデル追加時の再契約は不要
- 組織・ワークスペース・サービスキー単位の予算上限とコスト予測
- 個人情報・APIキーなどの秘密情報を検知し、遮断・種別ラベルに置き換えて送信・警告
- すべてのリクエストログを記録、社内ポータル・SIEMと連携

開発組織・エージェント・ソリューション

サービスキーひとつでスピードを

- OpenAI API互換 — base_urlとキーを変えるだけで導入完了
- ルーティングプリセットで、モデル選択条件・フォールバックをコンソールで管理
- モデルの切り替え・復元・A/Bテストをコードのデプロイなしで
- 事業者の障害・呼び出し上限の超過時に自動で切り替え

既存のコードは2行変えるだけ

OPENAI COMPATIBLE

```
# AIRouter適用後
client = OpenAI(
  base_url="https://airouter.example.com/v1",
  api_key="サービスキー")
client.chat.completions.create(model="preset/support", ...)
```

このような組織に必要です

WHO NEEDS IT

AIエージェント・ソリューション開発企業
マルチモデル運用・モデル切り替え・障害対応

複数部署が生成AIを使う大企業
部署別の予算配分・事業者契約の一元化

金融・公共・医療などの規制産業
データポリシー・リージョン制限・監査ログ

SI · ISV
顧客企業・プロジェクト別のワークスペース分離

AIRouterを実際に確かめてください
製品詳細ページでデモ動画をご覧いただけます。

製品詳細 · デモ動画 ↗ 導入のお問い合わせ ↗

18 —— Trust · 信頼の設計

セキュリティと統制は、後から付け足す機能ではなく、最初から設計する基本です。



従業員のチャット・文書作成 人

エージェント・予約された自動実行 自動化

社内業務システム (API) システム

開発組織のサービス呼び出し 開発

AI GATEWAY

すべてのAIリクエストはひとつの関門を通ります。

01 権限の確認

02 コストの集計

03 全文の記録

04 ポリシーの検査

チャットでも自動実行でも外部システムの呼び出しでも、例外の経路は設けません。

社内モデル

機微な業務は企業インフラ内のモデルで — 外部通信のない構成も可能

外部の商用モデル

一般的な調査・作成は外部モデルで、統制された出口一か所を通じて

01

資料は社内に

設置型の構成(AgentWorks)では、資料・会話・記録を企業のインフラ内に置きます。インターネットが届かない閉域網でも運用できます。

02

機微情報はポリシーで

個人情報・機微情報をポリシーで遮断し、付与された権限の範囲の資料だけを検索するため、閲覧権限が迂回されません。

03

記録は全文で

誰が・いつ・どのモデルで・何を尋ね何を受け取ったか、リクエストとレスポンスの全文を残して監査に対応します。

04

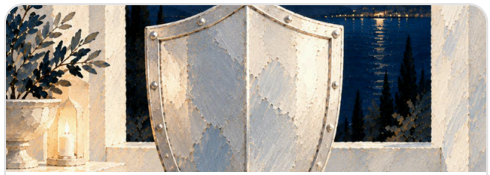
コストは使う前に

組織・ユーザー別の予算を事前に配分し、上限を超える前に止めます。AIコストを予算の範囲内で管理します。

19 —— Trust · References

さまざまな業界の現場で、ともに完成させてきました。

ソリューション事例をもっと見る ↗



セキュリティ · 共同開発

PIOLINK · A-XOC共同開発

押し寄せるアラートの中から、AIが本当の脅威を見分けられるように。



金融 · チャットボット

キウム証券 · AIチャットボット連携開発

チャットボットがどれほど賢くても、接続が切れれば返事は届きません。



公共 · 障害対応

公共機関 · AIによる障害対応プラットフォーム

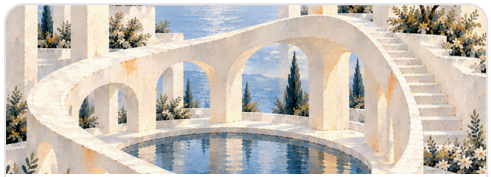
あいまいな通報の一行が、AIを経て、すぐ対応できる受付案件になります。



製造 · データ

ワンキャンネットワークス · AI資材名の標準化

名前は違っても、AIは『同じもの』を見分けます。



海外 · アシスタント

Agentec · AI Assistant構築

文字だけを読んでいたAIが、表や図まで読み始めました。



海外 · 映像

Agentec · AI Shorts構築

資料をアップロードするだけ。発表はAIがします。



人事 · AI採用

CAS · AI採用支援システム

人材を探す人と、自分を伝えたい人。その両方を支えました。



海外 · Yurika

Nippon Concrete · Yurika導入

ただ防ぐのではなく、安全に使う道を開きました。

CUSTOMERS & PARTNERS

HUAWEI BAYTECH BluStoneDXT FUJITSU TAEKWANG DELL Technologies Next I&I STI 에스티아이 PIOLINK CAS

VICS Technology

20 — Contact

皆さまの現場で、
ともに完成させます。

どんな問いでも構いません。VICSのチームに、導入をご相談ください。

導入のお問い合わせ ↗

導入の進め方

PROCESS

01
相談
現場の問いと業務課題をともに定義します

02
環境の確認
セキュリティ・インフラ・社内システムの条件を確認します

03
PoC
実際の業務で効果を検証します

04
構成・ポリシー
業務エージェントと権限・予算ポリシーを設定します

05
全社展開
成果が数字で残るまでともに歩みます

メール sales@vicsnc.com

住所 ソウル特別市 衿川区 加山デジタル2路98 (加山洞) 1棟 1118号

ウェブサイト vicsnc.com ↗

© 2026 VICS Technology, Inc. All rights reserved.

最初へ ↑